



こんにちは。トリプルアイズの白石です。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、

「未経験からでもこんなアプリが作れちゃう、トリプルアイズの新人エンジニア研修」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、

「キャンペーンのご案内」「会計士社長にしかできない、IPOを事業成長に結びつける方法」に代表の山田がパネリストとして登壇！」「トリプルブログスタート！お役立ち情報をお届けします」についてご紹介いたします。

そして連載企画「開発者が語る AIZE の現在・過去・未来」第2回です。囲碁 AI から画像認識プラットフォーム・AIZE が誕生した経緯、そして社会実装に至るまでのエピソードを、実際に開発を担当するエンジニアたちが語ります。

さらに IT 批評では、「6月の特集記事その2 AI時代の法と規範—学習院大学法学部教授 小塚荘一郎氏に聞く」についてご紹介します。

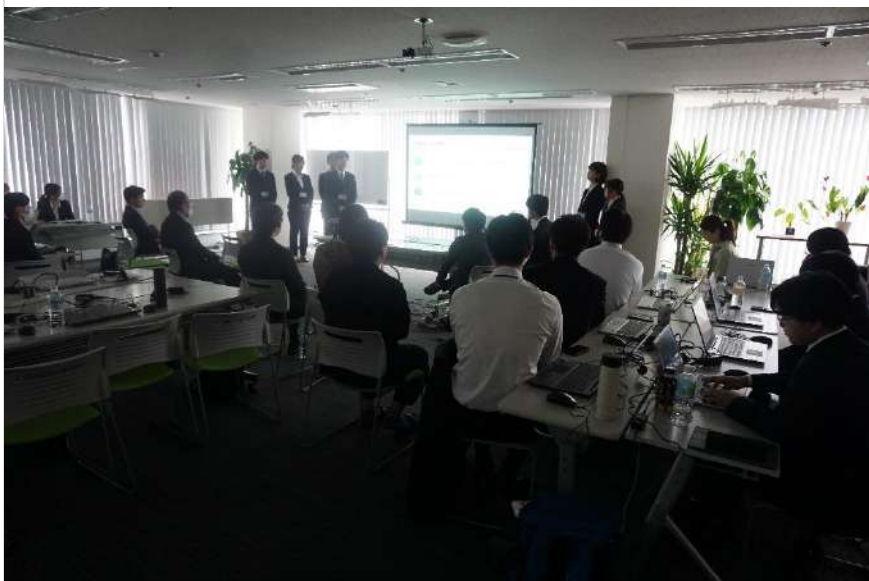
どうぞ最後までお付き合いください。

-----< 目次 >-----

1. 未経験からでもこんなアプリが作れちゃう、トリプルアイズの新人エンジニア研修
2. トリプルニュース
3. 開発者が語る AIZE の現在・過去・未来
4. IT 批評
5. 編集後記

-----

## 1. 「未経験からでもこんなアプリが作れちゃう、トリプルアイズの新人エンジニア研修」



社会問題の一つとされる人手不足の中でも、ひととき深刻なのがIT業界のエンジニア不足。

政府の試算によると、**2030年には約79万人もの人材が不足する**といわれています。

「お疲れ様です！」トリプルアイズ本社では、今日も元気な声が響きわたっています。4月に入社した27名の新入社員、これから社会に出るエンジニアの卵たちです。中途採用の市場からのエンジニア採用が困難となる中、当社ではエンジニア育成に注力しています。**プログラミング未経験者40%**というメンバー構成でスタートした研修の集大成となる成果発表会が先日行われました。

今どきのエンジニア新入社員研修はどんなことを学ぶのだろう？ 気になって発表の様子をのぞいてきました。

そこでは「え！未経験からたったの2カ月で、こんなことができるの!？」と驚く光景がありました。

本研修が目指すゴールは「**チームでのアプリケーション開発**」。

どんなアプリを作るかというアイデア出しから、設計、コード開発、テストを行います。そこで見つかったバグを修正し、完成させていきます。あるチームはテスト数235件、バグは63件だったそう！開発に苦労した過程が伝わってきます。**開発に充てられた日数は約10日間。実際にプログラムを打ったのは3日程度**というタイトなスケジュールでした。開発言語にjava、データベースにはOracleを利用しました。

完成したアプリケーションは、**ゲーミフィケーション要素を含んだ目標達成支援アプリ**や**スクレイピング技術を使った賃貸物件比較アプリ**、**バックオフィスに向けた業務効率化アプリ**や**ゲームを通して友達をつくるマッチングアプリ**とバラエティに富んでいました。すぐにでも市場に出せそうなほど高いクオリティのアプリもあり、開発への熱意が伝わってきました。

現場へ出ると、チームで開発にあたるのがほとんどです。「**他者が理解できるコードを意識して書く**」「**10分取り組んで解決しなければ周りに相談する**」など、具体的に働くイメージを持った様子の新入社員たち。黒板に向かってただ話を聞くだけの研修では得られない、実践的な学びができた様子でした。

そして今年の新入社員で特徴的なのは、**女性割合の高さ**です。27名中7名、**約26%が女性**です。

これはトリプルアイズ史上最も高い女性割合です。冒頭でお伝えしたエンジニア不足、これからは若手女性エンジニアの活躍にも期待が高まりますね！

未経験からエンジニアリング技能を学べる AT20 はこちら：<https://at20.jp/>

## 2. トリプルニュース

### キャンペーンのご案内

#### キャンペーンその1「アルコール検知 AI クラウドシステム AIZE Breath」

1台購入につき1台プレゼントキャンペーンを開始！



白ナンバーを対象としたアルコール検知義務化に関する警察庁の方針発表にともない、**期間限定でお得なキャンペーン**を開始しました。

「AIZE Breath」は、AI 顔認証とアルコールチェックを一連の動作で行い、記録をクラウドに自動保存するシステムです。管理者の PC 画面には、打刻時間と検知結果が一括で記録されます。また、既存の勤怠システムとの連携や運転日報の入力も可能です。顔認証によりなりすましを 방지、かつ運転者と管理者の業務工数を大幅に削減します。

キャンペーン対象の「AIZE Breath ハンディタイプ」の特長

- ・スマホ連動で**直行直帰**に対応
- ・**クラウド管理**
- ・**運転日報機能**搭載

**7月8日までの期間限定のキャンペーン**です。

お申し込み、詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://aizebreath.jp/>

キャンペーンその2「AI ビジネス実践塾 AT20」

The graphic features a blue background with a yellow horizontal bar at the top containing the text "AIビジネス実践塾" in white. Below this, on the left, is the text "AI人材の社内育成なり" in white. In the center is a stylized illustration of a person with blue hair and a question mark on their forehead, sitting at a yellow laptop with a lightbulb above their head. To the right of the person, the text "開始1年で総受講者数500名突破" is displayed, with "500" in large red font and "突破" in black. At the bottom left, the "AT20" logo is shown with the tagline "Let's challenge advanced technology" below it.

ただいまスキルアップキャンペーン実施中！

1社2名様以上でお申込みいただけますと、2割引きでご受講いただけます。

「AI ビジネス実践塾 AT20」とは、オンラインで毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能が身につく AI 教育プログラムです。

それぞれのコースの詳細など、詳しくは下記サイトをご確認ください。

<https://at20.jp/>

「「会計士社長にしかできない、IPO を事業成長に結びつける方法」に代表の山田がパネリストとして登壇！」



6月8日（木）日本公認会計士協会東京会主催のセミナー

「上場企業社長会計士 4 名が大いに語る！ IPO 関連業務で若手会員が活躍するためのヒント」に代表の山田が登壇しました。

本セミナーでは 3 名の会計士社長とともに、公認会計士としての経験を活かした経営ノウハウ、IPO を事業成長に結びつける方法、現場での仕事論などについて熱くお話をさせていただきました。

#### ■パネリスト

坂本 寿男 氏（株式会社申カツ田中ホールディングス 代表取締役社長 CEO、公認会計士 写真左上）

柴田 裕亮 氏（株式会社エアトリ 代表取締役社長兼 CFO、公認会計士 写真右上）

千葉 知裕 氏（株式会社 Macbee Planet 代表取締役社長、公認会計士 写真左下）

山田 雄一郎（株式会社トリプルアイズ 代表取締役、公認会計士 写真右下）

詳細はこちらをご覧ください：<https://www.3-ize.jp/information/3172/>

「トリプルブログスタート！ お役立ち情報をお届けします」



トリプルアイズでは、6月14日から本社サイトでトリプルブログのページを開設しました。

最新のテクノロジー事情や AI の活用方法、DX の取り組み方、ビジネスの新しいムーブメントなどをわかりやすく解説します。

現在は、12月1日からスタート予定のアルコール検知器を用いた検査義務化についての記事を4本掲載中です。

ビジネスに活かせるヒントが見つかります。どうぞのぞいてみてください！

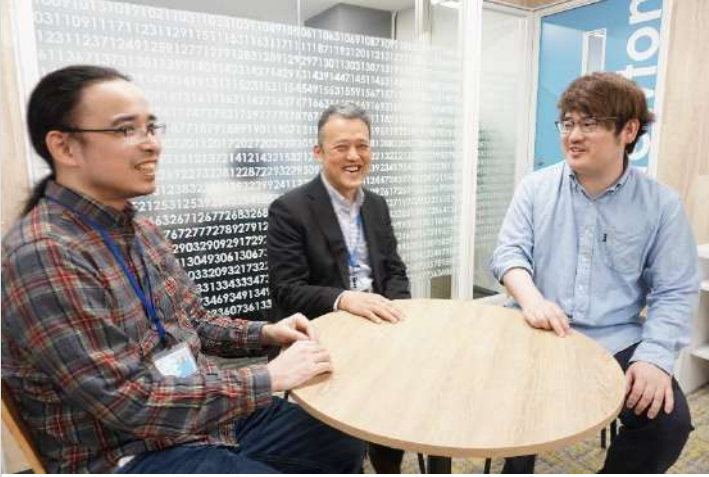
<https://www.3-ize.jp/triple-blog/>



### 3. 開発者が語る AIZE の現在・過去・未来

トリプルアイズ開発部の頭脳とも言えるエンジニア 3 人が座談会を行いましたので、その模様を 5 回に分けてお伝えします。

第 2 回の今回は、**AI 開発に対するお客さまの期待感をどのように受け止めているのか**語っています。



松崎憲介（写真左）技術本部 AIZE 開発部副部長・徳内哲也（写真中央）技術本部執行役員・片淵博哉（写真右）技術本部 AIZE 開発部部长

#### 第 2 回「トリプルアイズならなんとかしてくれる」という期待

**片淵**：AI はただの数理モデルだから、それを社会に役立てるためには**実装力が必要になります。技術力と社会実装力が両立できているところがトリプルアイズのアドバンテージ**なのかなと思います。AI の社会実装の最前線で頑張っている徳内さんとしてはどうですか？

**徳内**：使う人がどういう感覚でいるのか常に考えないといけない。AIZE も AI チームと UI チームに分かれています。両チームを連携させるのは簡単なことではありませんが、顔認証を用いて 1 つのサービスを提供するという具体的なゴールができると、どのようにして使いやすいシステムにするかにみんなの目的が集約されていきますね。

**片淵**：最近大手の企業さんから、「こういうのをつくってくれないか」という依頼を受けるケースが増えていますが、トリプルアイズが指名されるのはどういう理由からだと思います？

**松崎**：実績でしょうね。特に**ヤマダデンキさんとやった顔決済**はインパクトが大きかったと思う。

**徳内**：そうですね。**トリプルアイズなら何とかしてくれ**という期待を感じることはあります。

**松崎**：それと、日本語が通じる AI 会社のなかでは、比較的**コストパフォーマンスがいい**というのもよく言われます。

**片淵**：これから**顔認証が当たり前の世の中になったら、IC カードの時代にはもう戻れない**と思うんですよ。今は「別にカードでいいじゃない」って言うかもしれないけど、そもそもカードがない時代に生まれた人が、これからカード使ってくださいって言われたら面倒なはずですよ。スマホから携帯電話に戻れないのと同じように。

（第 3 回に続く）

#### 4. 【IT 批評 6月の特集記事その2】

AI 時代の法と規範 — 学習院大学法学部教授 小塚 荘一郎 氏 に 聞 く



AI やビッグデータが私たちの社会生活を大きく変えてしまいうる時代において、その規制についても議論と試行錯誤が続いています。人間と社会に与えられるのは脅威なのか、それとも福音なのか——テクノロジーに向き合うために問われているのは私たちの人間観や国家観でもあります。今回は、学習院大学法学部教授の小塚荘一郎氏に、**AI 法の成立から展望まで**をお聞きしました。

- (1) AI 時代の法と規範
- (2) データ社会が映し出す社会のかたち
- (3) 新しい権利と変わらない論理

<https://it-hihyou.com/>

#### 編集後記

\*\*\*\*\*

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

2021 年の調査になりますが、IT エンジニアのうち女性割合は全体の約 20%だそうです。これは大手企業を対象にしたアンケートのため、実際にはもう少し下がることが予想されます。新入社員の女性割合、コラムでもご紹介した通り、今年、当社は 26%でした。全体と比較すると率直に高いなと感じます。

社員の一人になぜエンジニアを志望したのか聞いてみたところ、「手に職をつけたかった」と回答が。なるほど。私が学生のころは「手に職をつけたいからエンジニアになろう」という発想はありませんでした。周りにエンジニア志望の友人もいなかったような。時代の変化なのでしょう。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！

\*\*\*\*\*